

T O S E I R E P O R T

INDEX

- 01 ごあいさつ
- 02 2024年11月期上半期業績サマリー、事業トピックス
- 03 特集 サステナビリティ経営の推進と環境に配慮した事業活動
- 04 特集 足元の事業環境と今後の事業展開
- 05 事業ハイライト
- 07 株主の皆さまとのコミュニケーション広場
- 08 株主還元について
- 09 連結財務データ
- 10 コーポレートデータ

都市に、心を。



第75期

2024年11月期上半期のご報告
2023年12月1日～2024年5月31日

中期経営計画初年度の上半期は通期利益計画の約87%まで進捗し好調なスタート
事業を通じたサステナブルな社会の実現への貢献に向けて、
トーセイはさらに進化してまいります。



代表取締役社長

山口 誠一郎

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

トーセイグループは、“グローバルな発想を持つ心豊かなプロフェッショナル集団としてあらゆる不動産シーンにおいて新たな価値と感動を創造する”という企業理念のもと、総合不動産会社として、不動産の売買に加え、不動産関連のソリューションの提供など幅広い事業を展開しています。

今回ご報告いたします2024年11月期上半期において、当社の主要マーケットである首都圏不動産投資市場では、良好な資金調達環境を背景に活発な取引が継続しました。また、円安を追い風にインバウンド需要が拡大しており、ホテル市場は好調に推移しました。日銀の金融緩和政策見直しに伴う金利上昇の影響や、建築費の高騰等に注視が必要であるものの、国内および海外不動産投資家による日本の優良不動産を選好する動きは、今後も継続するものと考えております。

このような事業環境のなか、当社グループの上半期の業績は好調に推移し、通期計画に対する進捗率は売上高で62%、税引前利益で87%となりました。計画達成に向けて各事業は好調に推移しており、なかでも不動産再生事業および不動産開発事業における**大型物件の販売**

収益がグループ全体の収益を牽引しました。

また、不動産ファンド・コンサルティング事業は**2.3兆円を超える高い水準の受託資産残高を維持**し、安定して運用報酬等を獲得したほか、ホテル事業においては**旺盛なインバウンド需要**を背景に計画を大きく上回る結果となりました。

下半期は、当期よりスタートしました**中期経営計画「Further Evolution 2026」**の達成に向けて、将来の収益の源泉となる仕入活動の強化や、当社独自のノウハウや企画・デザイン力を駆使したモノづくり、アセットタイプの拡大、不動産を裏付けとしたセキュリティ・トークン発行などの不動産関連サービスの拡充を推進してまいります。あわせて、サステナブルな社会の実現への貢献に向けて、「サステナブル バリューアップ」をコンセプトとした既存建物の価値再生など、事業を通じた社会課題解決への取り組みも積極的に進めてまいります。

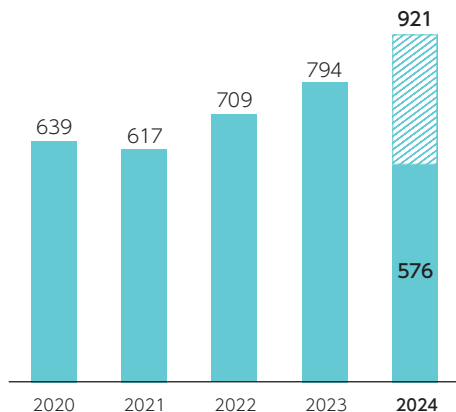
なお、2024年5月、当社は名古屋鉄道株式会社との資本業務提携を発表いたしました。本資本業務提携を通じて、首都圏や名古屋圏での共同プロジェクトを推進するなど、事業の強化を図り成長に向けて加速してまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

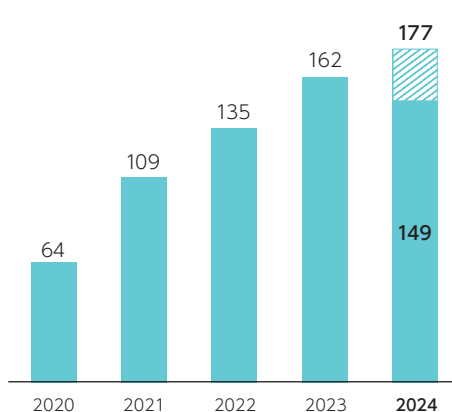
2024年11月期上半期業績サマリー

上半期の売上高576億円(通期予想進捗率62.5%)、営業利益149億円(同84.2%)、
税引前利益143億円(同87.1%)、当期利益100億円(同89.8%)と好調に進捗

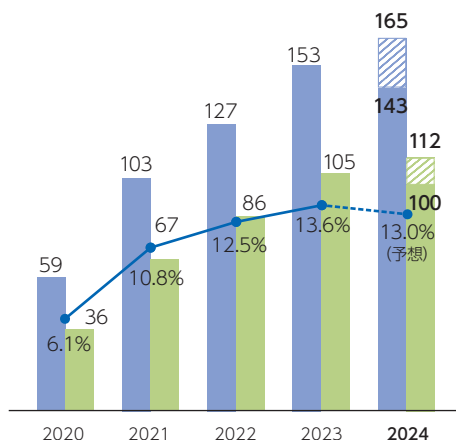
(単位:億円)
■売上高 ■予想



(単位:億円)
■営業利益 ■予想



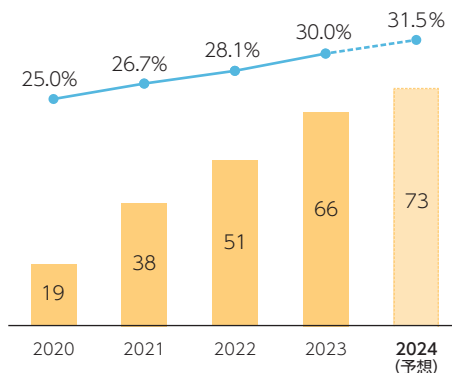
(単位:億円)
■税引前利益 ■当期利益* ■予想 ●ROE(%)



*親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益

現中計では配当性向35%への段階的な
引き上げを計画しており、当期は1株当たり
配当金73円(前期比+7円)を予想

■1株当たり配当金(円) ●配当性向(%)



事業トピックス

不動産M&Aのノウハウを活かした物件取得の推進

- 当期の仕入目標1,000億円に対し、上半期は、契約締結済・引渡前の物件を含め643億円まで進捗
- 物件価格高騰による厳しい仕入環境が続いているものの、当社は不動産M&Aのノウハウを活かし、好条件で物件を取得

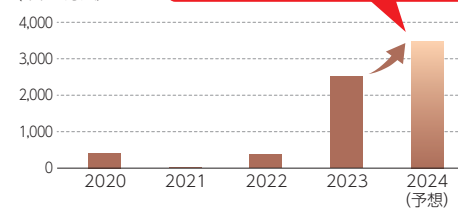
POINT



ホテル事業の好調な進捗とその背景

- 国内需要に加え、インバウンドの宿泊需要の増加により、ホテル事業は売上高・利益ともに好調に進捗
- 特に、観光エリアに所在するココネ浅草や2023年9月に開業したココネ築地銀座プレミアでは、稼働率が順調に伸長

訪日外客数推移
(単位:万人)



今年に入り、
インバウンドの増加が顕著

出所: 日本政府観光局「訪日外客数」より当社作成



ココネ浅草

特集 サステナビリティ経営の推進と環境に配慮した事業活動

当社は、持続可能な社会の発展のため、環境問題や社会課題の解決に貢献するとともに、当社グループの持続的な成長に向けてサステナビリティ経営を推進しています。当社がサステナビリティ経営の中で進めている環境に配慮した事業活動についてご紹介します。

サステナブル バリュアップの考え方と具体的な取り組み

不動産の価値を高める 3つのValue Up Code

Eco Friendly

エコロジー&リサイクル

省エネ、再エネ導入や
省資源など持続可能な社会に
向けたバリュアップ

Well-being

洗練&快適

景観、美観や快適性、
利便性向上に資する
バリュアップ

Resilience

安心&安全

防犯や防災性能の向上、
コミュニティ活性や保全に
向けたバリュアップ

当社は、モノづくりと品質にこだわり、環境や社会課題に配慮した不動産の再生および開発を推進しています。

特に、再生事業においては、多種多様な既存物件の個性を活かし、さらに魅力を高めるために『サステナブル バリュアップ』というコンセプトを掲げ、3つの重要な指針を軸に再生メニューを考案し、持続可能な建物の価値再生を推進しています。

トーセイのバリュアップ事例

T's garden 西寺尾

遊休社宅を賃貸マンションとして再生し、
収益物件としての新たな価値を創出

- バリュアップにおいては、環境配慮型設備の採用などを通じて、SDGs(持続可能な開発目標)へも貢献
- 空き家の状況から子育てファミリー世帯をターゲットとした賃貸マンションに再生することにより、地域に新たなコミュニティを創出



T's garden 西寺尾

トーセイのバリュアップ事例

T's eco 川崎

マンション全体でエコロジーを推進
することを目指し、バリュアップ

- 共用部にLED照明の設置、専有部には最新型のアコンや人感センサーを導入
- 屋上に設置した太陽光パネルにより自家発電を行い、共用部に配電し、余剰電力は蓄電
- 上記取り組みの結果、改修前と比較し、年間のCO₂排出量を約35トン削減(試算値)

Eco Friendly 太陽光パネルの設置



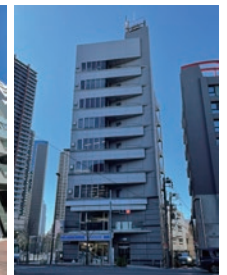
外部評価

環境認証取得の推進

- 環境配慮型設備の導入など不動産の環境性能を向上させるとともに、BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)などの不動産の環境性能を評価する外部認証の取得を推進
- 保有資産の価値向上、テナントリーシングに活用



江戸川橋トーセイビル
(1991年4月竣工)



中野坂上トーセイビル
(1993年3月竣工)



Eco Friendly

6 安全な水はトイレ
と洗面所に
節水設備の
導入



Well-being

15 緑の豊かな
中庭の植栽



Resilience

11 低床敷けられる
災害つくり
12 つくる責任
つくり製品
透水舗装と
防災ベンチの
設置



インバウンドの増加と ホテル事業のさらなる成長に向けた取り組み

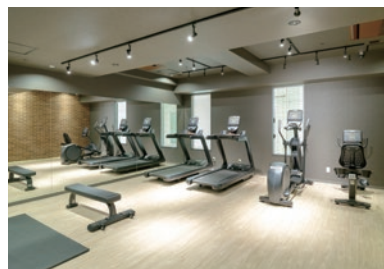
円安環境の継続に後押しされ、2024年3月に単月の訪日外国人客は300万人を超え、過去最高を更新しました。当社では国内外の宿泊需要のさらなる獲得に向けた取り組みや、今後のホテル事業の成長に向けた新規ホテルの開発の検討を推進してまいります。

国内・インバウンド需要のさらなる取り組み

- 宿泊需要を喚起するため、トーセイホテル ココネ築地銀座プレミアでは、宿泊者専用のフィットネス施設を新設
- ホテルスタッフの採用および教育を強化し、サービスレベルの向上に注力

新規ホテルの検討

- トーセイのホテルブランドの浸透に向けて、新規開発やコンバージョンなど新たなホテル投資の検討を開始



ココネ築地銀座プレミア フィットネス施設

建築費高騰局面での開発事業における取り組み

昨今、資材価格の高騰や建設業界の慢性的な労働力不足により建築費は大きく上昇しています。このような環境下でも事業成長を目指すべく、当社の不動産開発事業においては、相対的に建築費の上昇が緩やかな木造の開発メニューを拡充してまいります。

木造賃貸アパート事業の拡大

- 開発メニューの拡充により、新たな用地取得機会を創出
- 音楽レジデンスやロフト付きアパートなど顧客訴求力の高いアパートの研究を推進

高価格帯戸建の供給開始

- ハイエンドユーザ向けの戸建販売において、田園調布、学芸大学エリアに加え、今後は城西エリアにも対象を拡大
- デザインや環境性能にこだわり、戸建開発を推進



T's Cuore 浮間舟渡I
(木造賃貸アパート)

名古屋鉄道株式会社との資本業務提携

当社は、名古屋鉄道との資本業務提携を締結いたしました。名古屋鉄道の安定的な財務基盤および名古屋圏におけるプレゼンスやノウハウと、当社グループの企業価値の源泉である「不動産ソリューション力」「ポートフォリオ・マネジメント力」「グローバル・リーチ力」を相乗的に活かした、両社グループの企業価値最大化を目指してまいります。

T O S E I



MEITETSU Group

不動産事業において共同プロジェクトを推進し、
首都圏・名古屋圏での不動産投資や、
不動産ファンドビジネスを強化

資本業務提携によるシナジーを活用し、**トーセイグループ長期ビジョン2032、
中期経営計画「Further Evolution 2026」の実現に向けて
成長を加速**してまいります。

当社が期待するシナジー/共同プロジェクト

大規模不動産
への取り組み



不動産テック
ビジネス

名古屋圏での
不動産投資

不動産
私募ファンド
ビジネス

名古屋鉄道の 会社概要

商号	名古屋鉄道株式会社
本社所在地	愛知県名古屋市
資本金の額	1,011億円（2024年3月期）
主要事業	交通事業、運送事業、不動産事業、レジャー・サービス事業、流通事業、航空関連サービス事業、その他

連結業績

売上高

576.1 億円

前期比 **9.0%増** ↗

営業利益

149.0 億円

前期比 **19.1%増** ↗

税引前利益

143.7 億円

前期比 **19.0%増** ↗

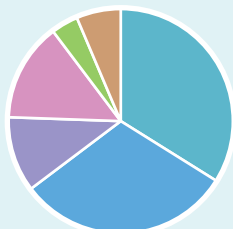
当期利益*

100.5 億円

前期比 **23.2%増** ↗

*親会社の所有者に帰属する当期利益

営業利益構成比



- 不動産再生事業
- 不動産開発事業
- 不動産賃貸事業
- 不動産ファンド・コンサルティング事業
- 不動産管理事業
- ホテル事業



不動産再生事業

営業利益構成比

33.9%

中古の不動産を取得し、安全性・快適性・環境配慮を意識した改修や稼働率向上などのバリューアップを実施した「再生不動産」を販売する事業です。

売上高 **293.9** 億円

前期比 **13.6%減** ↘

営業利益 **55.9** 億円

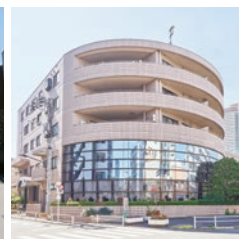
前期比 **21.9%減** ↘

- ◆ バリューアップを施した1棟不動産28件を販売、うち2件はスポンサーとしてトーセイ・リート投資法人へ販売
- ◆ 中古区分マンション65戸を販売
- ◆ 計画より高い利益率での販売が進み、通期計画に対して大きく進捗

販売物件の事例



横浜市 収益マンション



新宿区 複合施設



中央区 空オフィス



不動産開発事業

営業利益構成比

31.0%

開発用地を取得し、エリア特性やニーズに合わせて、オフィス・マンション・戸建住宅・商業施設・ホテル・物流施設などの新築開発を行い、販売する事業です。特に、分譲マンション、戸建住宅の開発では、SDGsへの貢献を意識した設備仕様を導入し、人にも地球にもやさしい住まいづくりを目指しています。

売上高 **143.3** 億円

前期比 **124.1%増** ↗

営業利益 **51.2** 億円

前期比 **295.3%増** ↗

- ◆ 自社開発物流施設「T's Logi青梅」、同商業施設「T'S BRIGHTIA自由が丘」を販売
- ◆ 分譲戸建についてはハイエンド向けの高級戸建を含む全14戸を販売

販売物件の事例



T's Logi 青梅
(物流施設)



T'S BRIGHTIA 自由が丘
(商業施設)



THE パームスコート田園調布
(分譲戸建)



不動産ファンド・コンサルティング事業

営業利益構成比

14.0%

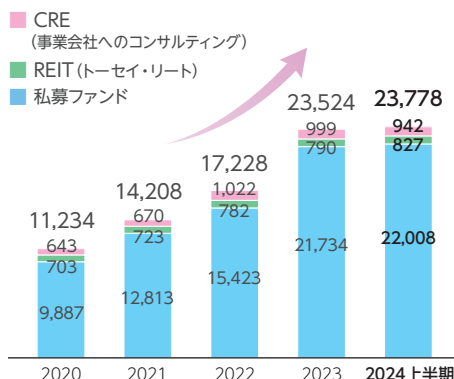
国内外の投資家から不動産ファンドの資産管理・運用業務を受託し、不動産の運用管理を行う事業です。また、一般事業会社に対する不動産コンサルティングや不動産仲介などのサービスも行っています。

売上高 **36.7** 億円
前期比 12.3% 減

営業利益 **23.0** 億円
前期比 22.6% 減

- ◆ 受託資産残高は期末目標 2兆5,500億円に対し、2兆3,778億円まで到達
- ◆ ディスポジションフィーなどの成果報酬を多く獲得し、通期計画に対して堅調に進捗
- ◆ トーセイ不動産クラウド「TREC FUNDING」にて新たに2案件組成

受託資産残高 (単位: 億円)



不動産管理事業

営業利益構成比

3.9%

オフィス・マンション・ホテルなどの建物・設備管理、保安警備、テナント管理・リーシングなど、総合的なプロパティマネジメントを行う事業です。

売上高 **42.5** 億円
前期比 10.5% 増

営業利益 **6.3** 億円
前期比 23.0% 増

- ◆ 事業承継支援案件として、事業会社の管理事業を引き継いだことで、管理受託棟数は963棟まで伸長
- ◆ 提案営業を積極的に行い、改修工事を多数受託。また、テナントリーシングに伴う手数料も多く獲得



不動産賃貸事業

営業利益構成比

10.9%

首都圏を中心に、当社グループが所有するオフィスビルやマンションなどを賃貸し、安定的な収入を得る事業です。

売上高 **37.5** 億円
前期比 15.4% 増

営業利益 **17.9** 億円
前期比 17.5% 増

- ◆ 事業承継支援を含むM&Aにより取得した物件が追加され、保有賃貸物件は123件へ増加
- ◆ リーシング活動を推進し、5月末時点の固定資産の平均稼働率は93.9%



ホテル事業

営業利益構成比

6.3%

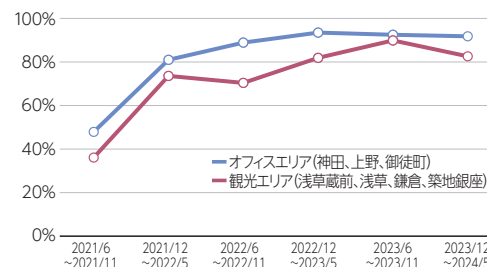
東京都区部を中心にホテルを保有し、運営収入や賃貸収入を得る事業です。

売上高 **30.2** 億円
前期比 65.3% 増

営業利益 **10.4** 億円
前期比 120.0% 増

- ◆ ホテル運営の重要な利益指標であるGOP (ホテルの売上総利益から運営経費を差し引いたもの) は15億円 (前期比83.7%増) と好調に推移
- ◆ 稼働率は順調に推移し、上半期の平均稼働率はオフィスエリアで92.0%、観光エリアで82.8%

当社運営ホテルの平均稼働率



(注) 各事業セグメントの売上高および営業利益には、セグメント間取引が含まれています。

株主の皆さまとのコミュニケーション広場

2023年11月期「TOSEI REPORT」のアンケートにおいて、1,054名の株主さまにご回答いただき、貴重なご意見をいただきました。
お忙しいところアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。お寄せいただきましたご質問とアンケート結果の一部をご紹介します。



Q SDGsへの取り組みを 教えてほしい。

A 当社グループは、企業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献すべく、サステナビリティ経営の実践に努めております。また、サステナビリティ推進における当社グループの重要課題（マテリアリティ）を特定し、これらの課題に取り組むことでSDGsへの貢献を目指しています。
そのほか、再生事業においてもSDGsを意識した「サステナブル バリューアップ」を実施しています。（→p3参照）

マテリアリティ「多様な人材が個性を生かして健やかに働ける環境」への取り組み

健康測定会やリラクゼーションセミナー等の健康増進の取り組みと
「健康経営優良法人（大規模法人部門）」への認定



貢献するSDGs



アンケート 結果のご紹介

当社IR活動についてより充実してほしい点を 教えてください。（複数回答可）

ホームページおよび本誌での情報提供をより充実してほしいとのご意見を多くいただきました。

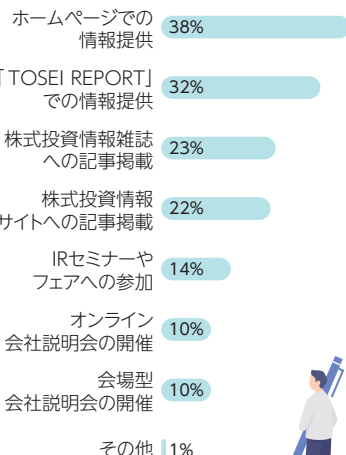
今後も株主の皆さまとのコミュニケーションを通じて、「TOSEI REPORT」のコンテンツの充実を図ってまいります。

また、当社ホームページでは、個人投資家の皆さま向けのページを設けていますので、ぜひご覧ください。

 個人投資家の皆さまへ
<https://www.toseicorp.co.jp/ir/investor/>

上半期のIRイベント

- ラジオNIKKEI「アサザイ」に出演しました（2024年5月）
- 株式投資情報雑誌「株主手帳」に当社が掲載されました（2024年8月号）



Q 運営しているトーセイホテルの 詳しい紹介をしてほしい。

A 当社グループが運営するホテルにご興味を持っていた
ありがとうございます。
今回は当社が神奈川県に初出店し、古都鎌倉のイメージに合わせた和な門構えが特徴的な「トーセイホテル ココネ鎌倉」をご紹介します。



施設 概要

住所 神奈川県鎌倉市御成町7-10-1
アクセス JR横須賀線・湘南新宿ライン、
江ノ島電鉄「鎌倉」駅西口徒歩4分
TEL 0467-22-5541
HP <https://tosei-hotel.co.jp/kamakura/>

株主還元について

株主還元

■ 株主優待

株主さまの当社株式保有状況に応じて、以下の優待品を贈呈いたします。

保有 株式数	継続保有期間	優待内容	
		オリジナルQUOカード	ホテル宿泊割引券
1単元 (100株) 以上	1年未満	—	3,000円分
	1年以上2年未満	1,000円分	
	2年以上5年未満	2,000円分	
	5年以上	3,000円分	

(毎年11月30日を基準日として年1回実施。発送は2月下旬頃となります。)



■ 配当金のご案内

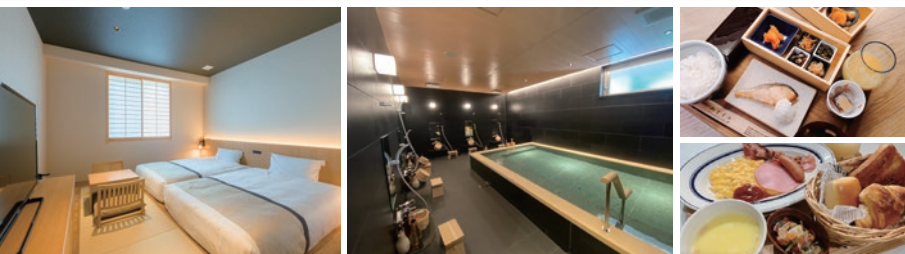
2024年11月期(期末)(予想) **73円**

2023年11月期(期末) 66円

2022年11月期(期末) 51円

ホテル宿泊割引券をご利用いただけるトーセイホテルのご紹介 (2024年8月現在)

「トーセイホテル ココネ鎌倉」のご紹介



「ココネ鎌倉」は、鎌倉駅西口の御成通りを4分程歩いた場所に位置し、小町通りや鶴岡八幡宮も徒歩圏内と観光に便利な立地にあります。当ホテルでは、お客さまのご予定に合わせ、様々な宿泊プランをご用意しております。

ココネ鎌倉 宿泊プラン

- 選べる朝食付きプラン
- 江ノ電1日乗車券付きプラン
- 新江ノ島水族館チケット付きプラン
- 人力車付きプラン 等

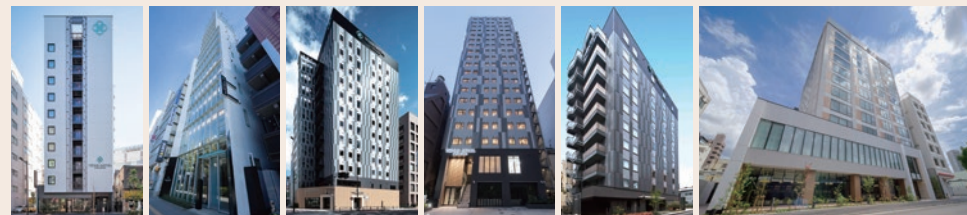


また、大浴場を備えておりますので、1日の終わりにはゆっくりと湯舟に浸かり鎌倉観光後の疲れを癒すことができます。スタンダードなツインルームから和洋室、2段ベッドを備えたファミリールームなど多彩なお部屋タイプをご用意しておりますので、ぜひ当ホテルにて心休まるひとときをお楽しみください。

TOSEI HOTEL COCONEシリーズ

<https://tosei-hotel.co.jp/>

- ココネ神田
- ココネ上野
- ココネ浅草蔵前
- ココネ上野御徒町
- ココネ浅草
- ココネ鎌倉
- ココネ築地銀座プレミア

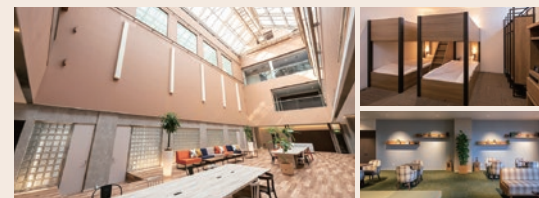


ココネ神田 ココネ上野 ココネ浅草蔵前 ココネ上野御徒町 ココネ浅草 ココネ築地銀座プレミア

TOSEI HOTEL&SEMINAR幕張

<https://tosei-hotelseminar.co.jp/makuhari/>

- トーセイホテル&セミナー幕張

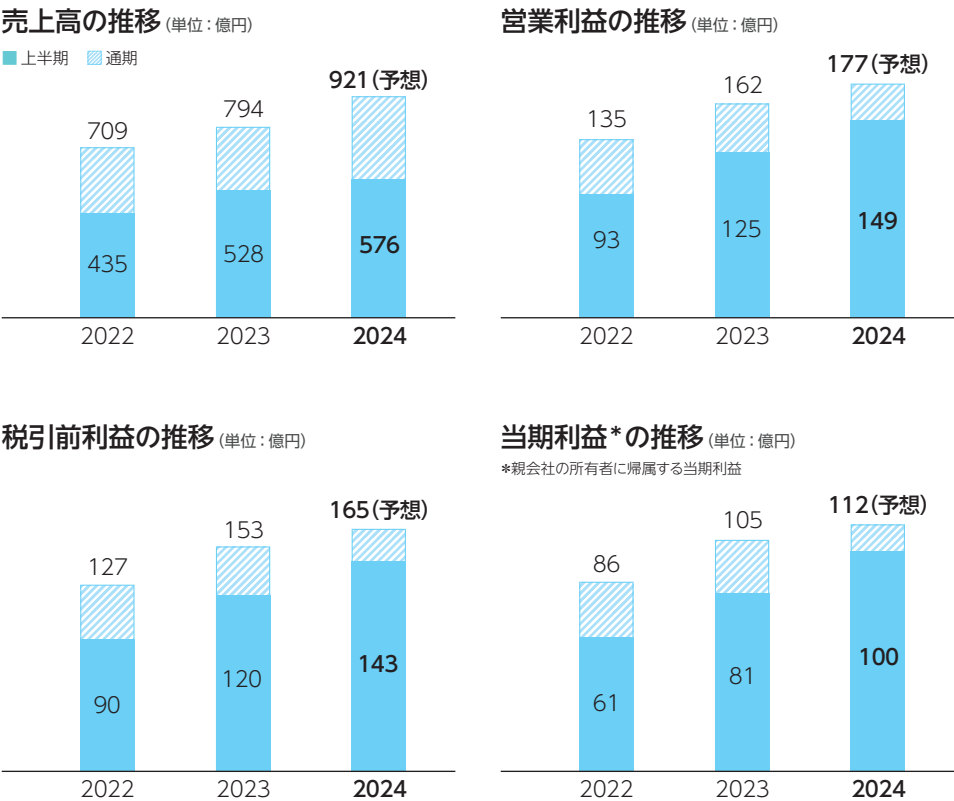


● ホテル宿泊割引券のご利用方法

トーセイホテル公式サイト、もしくはお電話にて直接ご予約ください。宿泊割引券は、ホテルでご精算の際にご利用いただけます。また、1回当たりの宿泊割引券の使用枚数に制限はございません。この他の条件やご注意事項は宿泊割引券に記載しておりますので、そちらをご参照ください。

(注) ホテル宿泊割引券の使用期間は発行年の3月1日から翌年の2月末日までの1年間です(予約日ではなく実際のご利用日となります)。

● 包括利益計算書 (損益計算書)

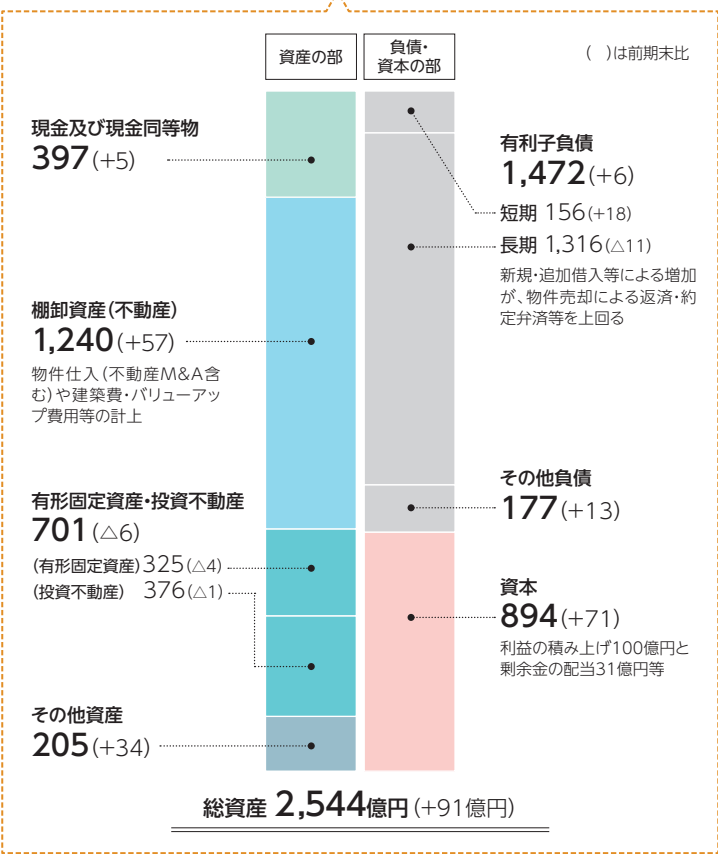
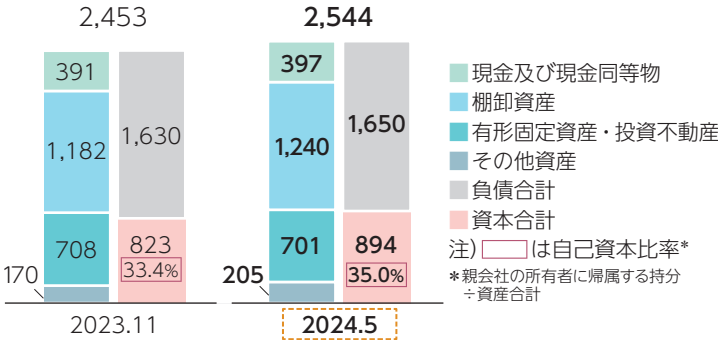


● 経営指標

	2022	2023	2024 (予想)
親会社所有者帰属持分当期利益率 (ROE) (%)	12.5	13.6	13.0
資産合計税引前利益率 (ROA) (%)	6.3	6.7	6.4
基本的 1 株当たり当期利益 (EPS) (円)	181	219	231
1 株当たり親会社所有者帰属持分 (BPS) (円)	1,529	1,695	—
親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率) (%)	34.3	33.4	35%程度
ネットD/Eレシオ (倍) *	1.29	1.31	1.4倍程度
安定事業比率 (営業利益ベース) (%)	43.0	49.2	45%以上

* ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金及び現金同等物)÷当期末親会社の所有者に帰属する持分
(注) 当社では不動産賃貸事業、不動産ファンド・コンサルティング事業、不動産管理事業、ホテル事業を「安定事業」と位置づけています。

● 財政状態計算書 (貸借対照表) (単位: 億円)



●会社概要

商号	トーセイ株式会社
代表者	山口 誠一郎
設立	1950年2月2日
所在地	東京都港区芝浦4丁目5番4号
資本金	6,624,890千円
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場プライム市場(証券コード:8923) シンガポール証券取引所メインボード(証券コード:S2D)
従業員	282名(連結788名) (嘱託・パート社員含む 1,018名)
事業内容	不動産再生事業、不動産開発事業、不動産賃貸事業、不動産ファンド・コンサルティング事業、不動産管理事業、ホテル事業
主要な関連会社	トーセイ・コミュニティ株式会社 トーセイ・アセット・アドバイザーズ株式会社 トーセイ・ロジ・マネジメント株式会社 トーセイ・ホテル・マネジメント株式会社 トーセイ・ホテル・サービス株式会社 株式会社プリンセス スクウェアー Tosei Singapore Pte. Ltd.

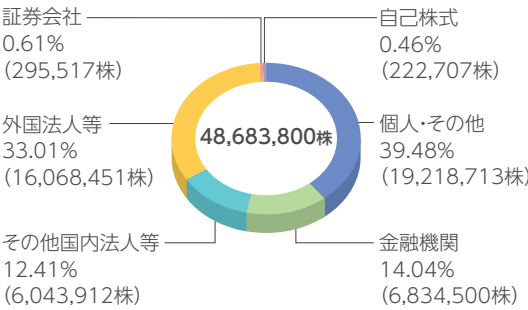
●役員

代表取締役社長 執行役員社長	山口 誠一郎
取締役専務執行役員	平野 昇
取締役専務執行役員	中西 秀樹
取締役常務執行役員	山口 俊介
取締役常務執行役員	米田 浩康
取締役執行役員	大島 均
社外取締役	少徳 健一
社外取締役	小林 博之
社外取締役	石渡 真維
常勤監査役	八木 仁志
常勤監査役	黒田 俊典
非常勤監査役	永野 竜樹
非常勤監査役	土井 修
常務執行役員	渡辺 政明
常務執行役員	藤原 宣人
常務執行役員	西本 亮司
執行役員	小佐々 大造
執行役員	塩飽 諭之

●株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,683,800株
株主数	19,183名

●所有者別株式分布状況



●大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山口 誠一郎	12,885,500	26.58
有限会社ゼウスキャピタル	6,000,000	12.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,548,200	9.38
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,821,902	3.75
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,671,500	3.44
GOVERNMENT OF NORWAY	1,405,617	2.90
出口 博俊	1,030,000	2.12
きらぼしキャピタル東京Sparkle投資事業有限責任組合	1,000,000	2.06
HOST-PLUS PTY LIMITED-HOSTPLUS POOLED SUPERANNUATION TRUST HOSKING PARTNERS LLP	763,400	1.57
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	748,086	1.54

*持株比率は、自己株式(222,707株)を控除し、小数点以下第3位を切り捨てて算出しております。
(注)名古屋鉄道株式会社との資本業務提携締結に関連して、2024年6月4日付で、筆頭株主である山口誠一郎が所有する当社普通株式のうち7,500,100株について、名古屋鉄道株式会社に譲渡完了しています。

株主メモ

事業年度	12月1日から11月30日まで
定時株主総会	毎年2月下旬
基準日	11月30日
剰余金の配当の基準日	5月31日、11月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 (https://www.toseicorp.co.jp/ir/publicly/index.html) ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

連絡先・電話お問い合わせ先・ご注意

証券会社に口座をお持ちの場合	お取引の証券会社になります。 ご注意: 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
特別口座の場合	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(フリーダイヤル) ご注意: 株式売買はできません。

T O S E I

都市に、心を。

トーセイは、あらゆる不動産シーンにおいて

新たな価値と感動を創造する「都市創造企業」として、

都市の魅力を高めることを目指しています。

魅力的な都市・建物をつくるためには、すべてを壊して建て替えるのではなく、

それぞれの土地が持つ個性にあわせた柔軟な取り組みが必要であると考えています。

新たな価値と感動を創造するために、心を込めて、都市をつくりあげていく——

「都市に、心を。」は、こうした思いを表しています。

● ホームページのご案内

株主さまや投資家の皆さまへ、適時開示や決算情報などのIR情報を発信しております。
ぜひ、ご覧ください。



Q トーセイ 不動産

検索

<https://www.toseicorp.co.jp/>

● IRメール配信

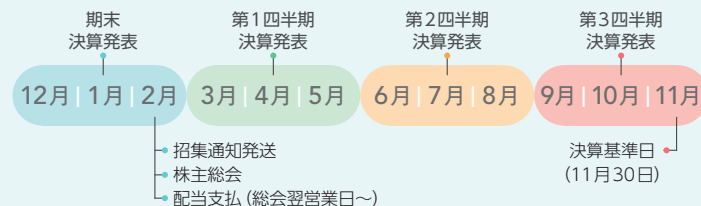
ご登録いただきました皆さまに、当社IR情報をメールにて配信しています。
ぜひご登録ください。



IRメール配信サービス

https://www.toseicorp.co.jp/ir/ir_mail/

● IRカレンダー



東京証券取引所プライム市場
(証券コード: 8923)



シンガポール証券取引所メインボード
(証券コード: S2D)



トーセイ・リート投資法人
(証券コード: 3451) *

※トーセイ・アセット・アドバイザーズが
資産運用を受託する投資法人